

旧多摩聖蹟記念館 二〇二二年度 秋季企画展

近代の和歌と書

2022

10/1 SAT

▶ 11/20 sun

旧多摩聖蹟記念館

休館日／毎週月・水曜日(祝休日の場合は翌日)

開館時間／10:00~16:00

料金／入館無料

注意事項／

- 来館の際はマスク着用をお願いします。
- 混雑を避けるため、人数制限を行う場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止等となる場合があります。

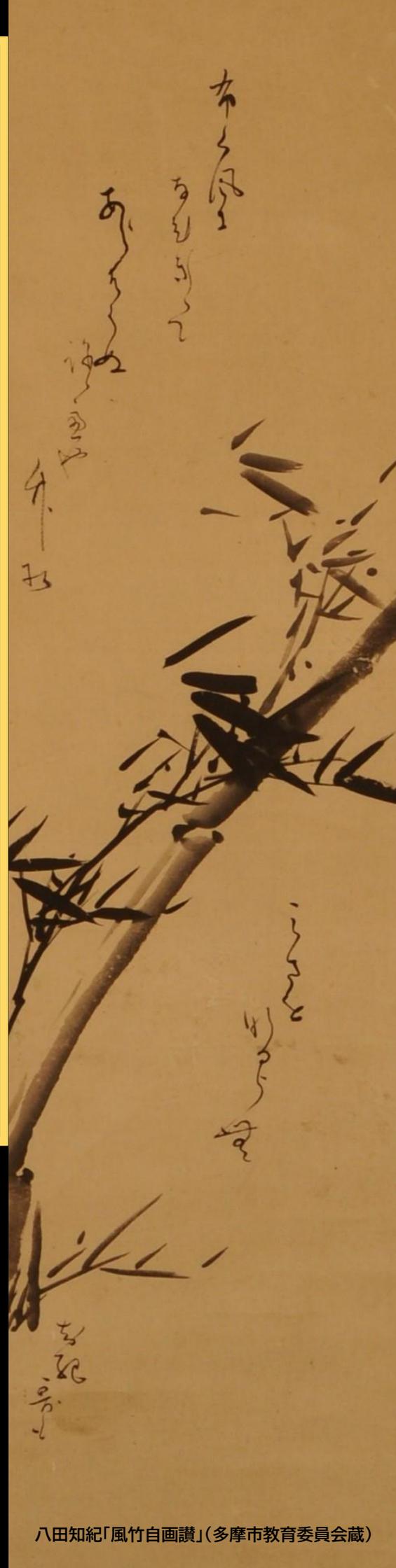
【問い合わせ先】

多摩市教育委員会教育振興課文化財係

TEL:042-338-6883

旧多摩聖蹟記念館 多摩市連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内)

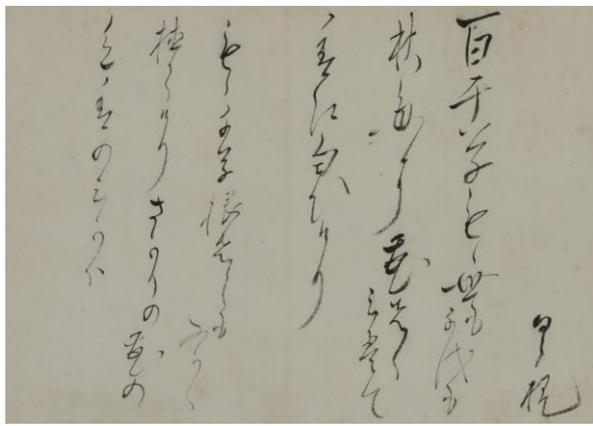
TEL:042-337-0900



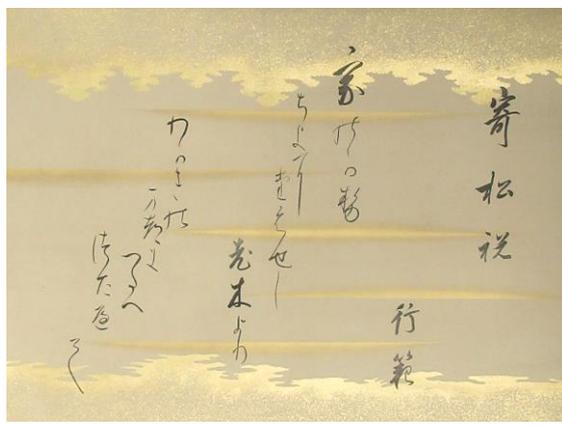
八田知紀「風竹自画讃」(多摩市教育委員会蔵)

旧多摩聖蹟記念館
二〇二二年度
秋季企画展

近代の和歌と書



岩倉具視「百千草」(多摩市教育委員会蔵)



山本行範「寄松祝」(個人蔵)

近代には、現在よりもさかんに和歌が詠まれていました。明治天皇や昭憲皇太后も和歌を好み、特に明治天皇は生涯を通じて約9万3千首もの和歌を詠んだことで知られています。明治天皇は、連光寺への行幸に際しても和歌を詠んでおり、都立桜ヶ丘公園内には「明治天皇御製・昭憲皇太后御歌碑」も建てられています。

近代において、宮中の和歌文化を支えていたのは御歌所おうたどころです。明治21年(1888)に設置されたのち、歌会始の運営や和歌に関わる諸事務を司りました。御歌所に所属していた歌人たちは、和歌のみならず書にも優れ、多くの弟子を輩出しています。

本展では、御歌所の歌人たちに注目して、「近代の和歌と書」の世界を紹介します。さらに、当館の設立者であるたなかみつあき田中光顕のほか、ひがしくげみちとみ東久世通禧、やまもとこうはん山本行範など近代に活躍した人びとの書も併せて展示します。



【交通案内】

- 京王線聖蹟桜ヶ丘駅から聖ヶ丘団地經由永山駅行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 京王相模原線・小田急多摩線永山駅から聖ヶ丘団地經由聖蹟桜ヶ丘駅行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 車で来館される場合は、都立桜ヶ丘公園駐車場(無料)をご利用ください。

大口周魚「寄梅祝」
(富澤家文書・多摩市教育委員会保管)



千葉胤明「明治天皇御製歌」(個人蔵)